

第1回～第3回のまとめ

● 総合計画の構成

	項 目	内 容	設定の考え方
序 章	① 計画策定の意義	(1) 七尾市まちづくり計画を尊重 (2) 市民協働によるまちづくりの推進 (3) 持続可能なふるさとづくり	
	② 計画の構成及び目標年次	平成20年度～平成29年度	
	③ 七尾市を取り巻く社会動向	(1) 少子・高齢社会の進行 (2) 高度情報化の進展 (3) 産業・経済のグローバル化、地域間競争の激化 (4) 地球環境問題の深刻化 (5) 国・地方を通じた厳しい財政状況	地域を取り巻く社会環境の変化を的確に把握し、対応策を検討するために諸問題を整理する
	④ 七尾市の概況	(1) 位置 (2) 気候 (3) 沿革	
	⑤ 七尾市のまちづくりの課題	(1) 観光・交流の促進に向けて (2) 福祉・保健・医療の充実に向けて (3) 教育・文化の振興に向けて (4) 産業活力の創出に向けて (5) 都市基盤の整備に向けて (6) 生活環境の向上に向けて (7) 協働による行政経営の推進に向けて	七尾市を取り巻く社会動向、市民アンケート調査結果を踏まえ、主要課題を整理する
基本 構 想	① 将来像	七尾湾と温泉をいかした 能登から世界への架け橋 人が輝く 交流体感都市	まちづくりの「テーマ」並びに、これを補完し、将来における「まち」のイメージや機能を文言で表現する「将来の姿」
	② まちづくりの基本方針	(1) 笑顔で人が行き交うまちづくり [観光・交流] (2) 健やかで元気がみなぎるまちづくり [健康・福祉] (3) ふるさとに学び、ともに育つまちづくり [教育・文化] (4) 創造と活力あふれるまちづくり [産業・港湾] (5) 快適で魅力あるまちづくり [都市基盤] (6) 安全で住みよいまちづくり [安全・環境] (7) 市民とともに歩む、健全なまちづくり [協働・政経営]	市民アンケート調査結果等を基に位置づける
	③ 将来人口	55,000人	将来指標の原点となるもので、他の指標や計画内容を検討するための基礎となるもの
	④ 土地利用構想	土地利用の方向性	旧市町の土地利用ゾーニングを参考にしつつ、適切な土地利用の規制・誘導を図る
	⑤ 施策の大綱	将来像の実現のための方向性を体系化 (基本計画や実施計画の直接的な指針)	今後のまちづくりの基本的な考え方を体系的及びそれぞれの方向性を表現
	⑥ 基本構想の推進	市民参加型の進行管理	将来像の実現していくために、市民参画を基本として、市民との協働をめざしたまちづくりを進める
基本 計 画	① 基本フレーム ② 土地利用及び将来都市像 ③ 重点プロジェクト ④ 分野別計画		

七尾市の将来像

七尾湾と温泉をいかした 能登から世界への架け橋

～ 人が輝く 交流体感都市 ～

活気あふれる
元気なまち

文化の薫る
美しいまち

安全で
住みよいまち